

# チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第60号平成24年 7月20日  
 広島市立五日市南中学校  
 〒731-5135 佐伯区海老園 4-2-21  
 TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

## 校長室だより

予習と復習のやり方を習得するまで時間をかけたことは、高校生においても入試に良い影響がでました！

～7月13日(金)16時、校長来校 大学入試や高校の授業について語っていたので、2,3インタビューをしました。また、6月28日(木)18時30分PTA対象家庭学習ワンポイントアドバイス講座に約100名の保護者が集まりました。好評でしたので、次回9月4日(火)18時30分、格技場でpartⅡワンポイントアドバイスを行います。～

6月28日(木)18時30分から約1時間程度、格技場で各学年34名から40名程度の保護者を対象に、3学年を教えている国語・社会・数学・理科・英語の教科の先生が家庭学習ワンポイントアドバイスを講座形式で行いました。

導入において教頭先生が家庭学習を習慣化させるために必要な生活リズムの付け方についてアドバイスをしていました。

例えば、家において、朝『雨が降りそうだ。』そんな時、保護者の方の中には、よくすぐに

『傘を持って行きなさい』と言われる方もあります。そんな場合も、少し、言い方を変えて『傘はどうするかな』と生徒に少し考えさせる機会を与えてほしい。例えば生徒が傘を持って行かなくて雨に濡れた場合でも、自己が決定したことに対しては生徒自身が責任を取ることが出来る場面を残してやってください。それを繰り返し、生活リズムをつくり、家庭学習を習慣化させてください。その後、国語科長井先生が『今日集まれた保護者の方は、国語の点数を上げたくて来られたのですかそれとも、国語力をつけたくて来られたのですか?・・・』ここから始まりましたが結局、両方を話をされていきましたね。次に、社会科の西川先生が『暗記するコツは、五感を

フルに使うこと』話を実演入りで話しをしていました。英語科の能宗先生も『英語科のおもしろさと同時にこの五感のフル活用が暗記に有効であること』をドラゴン桜を例に挙げ話をしていました。

数学科秋本先生と理科今島先生は『現実のものや実験の中から思考をしたり想像をしたりすることや、又自分でたった一問でも解ききってみる経験が好きになる秘訣だし、学力が伸びる最大要素だ』と言っていました。

時間は10分程度ずつでしたが、好評であり話をしたことは今後どこかで、整理しておきたいと思いました。好評に尽き

今回は、9月4日(火)に2年生の先生方で教科を少し増やししながら、保護者と一緒に家庭学習の習慣化について考えてみようと思ひます。どうぞ奮ってご参加ください。

7月13日(金)16時、校長来校 大学入試や高校の授業について語っていたので、インタビューしました。

今回(第16次)の調査研究では、平成16年、平成19年のデータとの経年比較を行い、子どもの姿や思いの変化の様子をまとめています。また、「子どものやる気」「子どもの耐性」「子どもの人間関係」の3つの視点から、30年前の子どもたちと、現在の子どもたちの姿や思いの変容を明らかにしました。この調査研究では、30年前の子どもと比べて、感情を表に出さず、自分一人で抱え込もうとする

子どもが増えているということや、子どもが望んでいる地域とのかかわりは、「なかよくしたい」「助け合いたい」から「あいさつ程度」に変わってきていることがわかりました。

「人」は社会的存在だといわれています。子どもたちが自分の将来に希望をもち、未来に向かって進んでいくために、家族や学校、地域社会という身近な社会集団の中で、お互いに認め合いかかわりあうことが重要であることはいうまでもありません。社会集団が希薄になりつつある現代において、震災から立ち上がる人々の姿に、教育に携わる者として多くのことを学び、改めて人とのかかわりの大切さを感じています。



ヒロシマの心を世界に2012

広島市立舟入高等学校演劇部 公演  
 『麦っ子ゲン』～中沢啓治「ヒロシマの空白 中沢家始末記」より～  
 日時：平成24年(2012年)8月6日(月) 9:20～10:20  
 場所：広島国際会議場 フェニックスホール(地下1階)

【あらすじ】  
 「はだしのゲン」の作者、漫画家の中沢啓治さんは広島市舟入本町に生まれ育ちました。昭和36年(1961年)、漫画家を志して上京しますが、「ゲン」がすぐに生まれたわけではありませんでした。それどころか、自身の被爆についても、周囲に語ることも出来ずじまいでした。しかし...

長編アニメーション作品「ジュノー」上映 (英語字幕付き)

日時：平成24年(2012年)8月6日(月) 14:00～15:05  
 場所：広島国際会議場 フェニックスホール(地下1階)

二人の少女が見た、一人の医師の物語  
 修学旅行で、平和記念公園を訪れた中学生の美依と優子。公園の片隅にボツンと立つ「マルセル・ジュノー博士」と刻まれた銅像を見つけた。「誰?何をした人なの?」と突然ふたりは不思議な光に包まれ、意識だけが時空を超え70年以上前のヨーロッパへ

被爆直後の広島に医薬品を届け、被害者の治療にあたったスイス人医師がいた一國を超え、人種を超えて、無償の愛に生きたスイス人医師「マルセル・ジュノー博士」の生涯を描いたアニメーションを上映します。

市内の中学生、高校生が平和・復興をテーマに制作したアニメーション作品の上映 ほか

日時：平成24年(2012年)8月6日(月) 16:00～17:00  
 場所：広島国際会議場、ダリア(地下2階)

アニメーション制作学校  
 広島市立基町高等学校創造表現コース、二葉中学校、庚午中学校、井口台中学校、五日市南中学校

アニメーション制作ワークショップ「おもしろアニメーション」  
 同日10:00～15:00 広島国際会議場コスモス(地下2階)で開催します。  
 当日参加・途中参加できます。どうぞご来場ください!

広島国際アニメーションフェスティバル  
 マスコットキャラクター「ラビビ」

【予告】第14回広島国際アニメーションフェスティバルを開催します!  
 開催期間：8月23日(木)から8月27日(月)まで/場所：アステールプラザ(広島市中区加古町4-17)

『昨年度は、進路実績が過去最高になりました。』とある公立高校の校長先生が言っていました。なぜ、そうなったのですかと聞くと『2つ理由があります。』

- 1 予習と復習のやり方を習得するまで時間をかけたこと
- 2 主体を持たせ行事や部活動を行わせたことと総合的な時間などにNIEや国際交流を活用し英字新聞を作らせたこと』

7月は文月(ふみづき)～デジタル化の時代、今アナログの時代の文(ふみ)を見直そう～

本校の生徒指導主事甲元先生は、技術科でコンピュータの達人です。この7月のはじめの学校朝会で、『デジタル化のプロですが、今こそアナログの良さを見直そう。この7月(文月)に文(ふみ)である手紙を書いてみませんか。』と話をしていました。